

「第9回 地域医療を考える市民の集い」 開催報告

【日 時】 平成27年9月27日(日) 午前10時 ~ 11時30分

【場 所】 海南病院 2階 管理棟 職員食堂

【参加者】 50人

【進 行】 海部地域医療サポーターの会 百合草 正子

【主催】 海部地域の医療と健康を推進する協議会
海部地域医療サポーターの会

【挨拶】 海南病院 院長 山本 直人

【テーマ】 「在宅医療サポートセンター」とは？
～海部医療圏と各市町村の取組について～

【講 演】

1 演題 「在宅医療サポートセンターについて」

講師	海部医療圏在宅医療中核サポートセンター	コーディネーター	池戸 初枝氏
	海部医師会在宅医療サポートセンター	コンダクター	村田 昌史氏
	津島市在宅医療サポートセンター	コンダクター	近藤 剛弘氏

内容

- ・通院困難な患者が過ごす自宅もしくは施設などに、医療者が訪問して、医療継続する狭義の在宅医療についてサポートする。
- ・「サポートセンター」の役割は在宅医療に関する相談の対応だけでなく、患者と医療関係者のICTによる情報共有がスムーズにいくよう進めていくこと。
- ・設置理由は、2025年問題を展望し在宅医療と介護を一体的に提供する環境整備が必要な為。
- ・海部医療圏と各市町村の取組みは、サービス資源を把握し、切れ目ない提供体制の構築推進など、関係市町村と連携しながら行う。また在宅医療支援病床の推進を図る。
- ・安心して24時間治療が受けられるようにしていく。また、住み慣れた自宅で暮らし続けるために、早めに考え早めに相談をしてほしい。

2 演題 「地域包括ケアにおける医療の役割」について

講師 津島市医師会 会長・安藤病院 院長 河西 あつ子 氏

内容

- ・異例のスピードで進行していく高齢化。今後国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれる。このため、厚生労働省は2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立支援の目的のもとで可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進している。
愛知県でも3年ごとの事業計画の策定・実施を通じて地域の自主性や主体性にに基づき、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムを構築している。
- ・高齢者を取り巻く現状として（医療的な視点）
 - * 多疾患罹患、多剤服用、口腔機能の低下、認知症などの特有の病態・障害。
 - * 病床数や老人ホームの不足による看取りの場の不足
 - * 一人暮らし世帯の増加や、若年層の減少による社会保障の現状維持の困難。
 - * 認知症患者の増加などがある中、津島市では、つながろまい津島を利用し認知症初期集中支援チームの取り組みをしている。
- ・消費税増収分を活用した地域医療介護総合確保基金による地域医療構想では、回復期を増やすなど病床の再編成をしていく。また、訪問診療・往診、訪問歯科医療、薬局・訪問薬剤管理などの在宅医療の提供体制の充実を図る。海部医療圏においても、各市町村ごとに勉強をしていき、地域コミュニティなどの繋がりを持ちながら、スムーズな地域包括ケアシステムの確立を目指す。

3 質疑応答

Q 病院医療と在宅医療の二股は可能か？

A 癌や難病に対して積極的治療中なら二股から始まる。治療の余地がないと言われても二股は可能。

Q 在宅医療に適した病気がある？

A 癌、癌以外、小児、老人すべての病気が在宅医療の対象。末期癌は在宅ホスピスという名前で有名だが、それ以外の病気の在宅医療の方がはるかに多い。

Q 臨終の時、先生は来てくれる？

A 主治医が臨終の場に間に合わなくても、病気の経過がありその病気で亡くなった事が明らかであれば、死亡診断書が発行できる。呼吸停止から少し時間が経過していても、法的な問題はない。

Q 相談する際、居住地以外のサポートセンターでも対応してもらえるか？

A 医師会はその地域にもあり、協力していけるため大丈夫。

Q かかりつけ医もなく、病院にもかかったことがない場合、在宅での看取りの先生を紹介してもらえる？

A 自宅での看取りを推奨しているわけではなく、病院、施設での看取りも在宅医療に含めても良いと考える。難しい病気の場合なども含め、大病院にも参加してもらい、それぞれが希望する形を取れば良いと思う。

Q 電子連絡帳の浸透状況は？

A 津島市は大部分。弥富市は10月から、その他市町村は今後広がる予定。

【挨拶】 海部地域医療サポーターの会 代表 横井 千恵子

次回以降の開催に活かすため、アンケートを実施しました。その概要は次のとおりです。

【アンケート結果】 参加人数：50名 回収率：31名 62%

問1 ご年齢について

(1)10～19歳	0名	(2)20～29歳	3名
(3)30～39歳	5名	(4)40～49歳	11名
(5)50～59歳	7名	(6)60～69歳	4名
(7)70歳以上	2名		

問2 お住まいについて

(1)津島市	6名	(2)愛西市	4名
(3)あま市	1名	(4)弥富市	4名
(5)大治町	0名	(6)蟹江町	3名
(7)飛島村	1名	(8)名古屋市	3名
(9)その他	9名		

(*桑名市、木曾岬町、いなべ市、稲沢市、清須市、扶桑町)

問3 「第9回 地域医療を考える市民の集い」に参加したきっかけについて

(1)知人からの紹介	7名	(2)リーフレット	7名
(3)病院・行政の行事	11名	(4)その他	4名
*無回答	2名		

問4 「講師の講演」の内容について

(1)よく理解できた	23名	(2)まあまあ理解できた	8名
(3)どちらでもない	0名	(4)あまり理解できなかった	0名
(5)理解できなかった	0名		